



下浦育造有馬ライオン
ズクラブ会長

五月三十日、「有馬ライオンズクラブ
チャーターナイト10周年記念式典」が有
馬グランホテルで盛大に行われた。
有馬クラブは、三田クラブのスポンサ
ーで、昭和四十七年五月二十八日にチャ
ーターナイトを挙行、今日まで一貫して
社会奉仕の理念に基づいて地域社会で活
潑な活動をつづけて来ている。現在の会
員数は下浦育造会長以下、64名。
挨拶のなかで、風早喜一10周年記念大
会委員長は「10周年というこの感激をも
つて、なお一層、ライオンズ精神に則つ
た社会奉仕をつづけたい」とさらなる前
進を強調。また、下浦育造会長も「この
10年、社会奉仕の灯を消すことなく微力

● THE ARIMA SPA ●
IN JULY

湯の街

有馬歳時記

有馬ライオンズクラブ10周年

ながら前進して来た。われわれは、今日
の喜びを今後の糧として、会員一同、一
致協力をして社会奉仕、友愛と協調の精
神で前進をつづけたい」と、15周年、20
周年へ向っての抱負を語った。

その後、来賓の祝詞があったが、小笠
原曉兵庫副知事は「この10年は、まさ
に激動の10年であった。それを乗り越え
地域社会の発展に尽して来た有馬ライオ
ンズクラブの貢献には大きなものがある
今後とも、みんなの叡智と力を結集し、
ともに生きるの精神で、地域社会の福祉
増進と発展に尽して欲しい」と有馬クラ
ブの今後に大いなる期待を寄せた。

有馬クラブは、四十八年に台北市第32
国際獅子会と姉妹提携をしているが、祝
詞のなかで曾淇竹第一副会長は「今後と
も人類へのより良き貢献のため、ともに
努力して行きたい」と両クラブの一層の
友好を訴えた。

下浦会長から脇田通弘三田クラブ会長
へ感謝状、記念品、花束が贈られ、会場
には一さわ大きな拍手が湧き起った。

次に10周年記念事業の発表が行われた
この記念事業は三つあるが、まず、「茶
人大閣像」。これは女流彫刻家の新谷英子
さんの作品で、晩年の柔和な感じの「茶
人」豊臣秀吉のブロンズ像。完成後は神
戸電鉄有馬温泉の傍の「湯けむり広場」
に設置される。これまで若い女性像が主
であった新谷さんの新たな試みだけに大
きな話題を呼びそうだ。二番目は、社会
福祉法人上野学園に贈られた農耕作業
地。同学園の子供たちの活動と生きがい

有馬の歴史を語り続ける「いで湯の宿」

銀水荘

別館 楽山

TEL (078) 904-0622

別館 光楽

TEL (078) 904-3656

欽山は典雅な
日本風の館です

国際観光旅館



欽山

TEL (078) 904-0701代

敷地内から湧きでる
日本最古の温泉「有馬温泉」

阪急ホテルチェーン

有馬ビューホテル

TEL (078) 904-2295代

温泉と演芸と遊技場

有馬ヘルスセンター

TEL (078) 904-2291

雅ただようくつろぎの館

中の坊瑞苑

TEL (078) 904-0781

会議セミナーから御家族づれまで

有馬グランドホテル

TEL (078) 904-0181

が農作業を通して生まれるようにとの願
いから、北区淡河町東畑字筑前の約一
千平米の土地を贈呈。

最後に、教材として『わたしたちのま
ち有馬』一千部が神戸市立有馬小学校へ
協賛贈呈された。これは、有馬小学校の
編集になるもので、有馬の歴史や今の姿
を児童たちにも分りやすく伝えたいとの
願いから発行された。全児童と地元の人
たちに配布される。

式典は次に会員表彰に移り、チャータ
ーシェブロン賞（28名）、10年間皆出席
賞（11名）、5年間皆出席賞（10名）の
発表と表彰、歴代会長、幹事、会計への
感謝状贈呈が行われた。

この日は、あいにくの雨模様にも関わ
らず、会員、来賓などが会場をいっぱい
に埋め、10周年を祝うのにふさわしい大
会となった。



盛大に行われた10周年記念式典

夏の観光キャンペーンを展開

★有馬湯けむりキャンペーン

期間／7月17日～8月16日

対象／有馬温泉の宿泊客

有馬の新しいシンボル「湯けむり広場」
が六月下旬にオープンしたが、それを記
念したキャンペーン。期間中、旅館・ホ
テルの宿泊客を対象にアンケートをお願
いし、お客さまの声を積極的にとり入れ
る一方、最終日には抽選を行い、ポラロ
イドカメラ、ウォークマン、スクーター
など豪華景品をプレゼントする。

★あゝりまのカーニバル

日時／7月21日（水）22日（木）19：00～23

：00 場所／有馬温泉商店街道路（歩行
者天国）掘出し物がいっぱいの名物「有
馬夜市」をはじめ、サンバカーニバル、
大学バンド合戦、のど自慢大会、カント
リーパーなど楽しい催しがいっぱいだ。

★有馬温泉大学

「シェイプ・アップ・インありま」

日時／8月2日（月）10：00～18：00

会場／有馬グランドホテル

一般公募／25歳以上の女性百名（子供同
伴可） 参加費／5000円

お申し込みはハガキに住所、氏名、電
話番号を明記の上、7月20日までに、〒

651-114 神戸市北区有馬町798

有馬温泉観光協会青年部事務局まで。

★有馬観光盆おどり

日時／8月14日～16日 19：00～22：00

会場／有馬小学校

地元の人と観光客とのふれ合いの場。

旅は出会い

ほのぼのの心を添えて

政府登録（登録第78号）

●月光園

神戸市北区有馬町318
TEL (078) 904-0366

自然の恵みを

湯けむりに伝える

政府登録国際観光旅館

古泉閣

TEL (078) 904-0731

テニスでいい汗
いい湯にとっぷり
味に集う



TEL (078) 903-1024

本造りの宿

御所坊

TEL (078) 904-0551

結婚式場を完備しています



伝統と格式を誇る

兵庫

向陽閣

景勝高台の近代旅館

TEL (078) 904-0501代

話題のひろば

< I >

● 82パールプリンセス最終審査発表会 二代目「美の使節」 華やかに誕生



昨年、ポルトビニアを契機に神戸の真珠業界のPRとイメージアップのために選ばれたパールプリンセスが真珠の女王、美の使節としての一年間の大役を無事おえ、82年度パールプリンセスの最終審査発表会が5月27日、神戸国際交流会館メインホールにて華やかに開催された。

今年度は関東と関西にかけて審査を行ない、全国から570名の参加があつて一段とスケールの大きい催しとなつた。まず主催の日本真珠振興会から実行委員長の田崎俊作さんが「昨年はアメリカヘパールの使者として親善訪問も行ない好評だった。真珠業界とパールプリンセスに声援を」と挨拶。

総合司会の岡田真澄が最終審査に残った28名の美女を紹介、レオタードの似合う個性的な美人が多い。伊東ゆかりとタイムファイブがジャズのスタンダードトナアンバーを披露して会場を沸かせた後、再び鮮やかなイブニング姿で美を競い溜息を誘う。内海重典、児島明子さんら審査員の厳正な審査によって代表パールプリンセスに植原美智子さん、パールプリンセス篠山久美子、中島由起子さん、アイドル賞に井口美津子さんの4名が選ばれた。今年はヨーロッパへの親善訪問も予定され、美の使節に益々期待が高まっている。

話題のひろば

<II>

●神戸文化ホール前館長

松井一郎

文化興黒松花道



写真左上は松井一郎ご夫妻を囲んで。右上は市長もお祝いにかけつけて。右下朝比奈隆、松鶴師匠、筒井康隆、陳舜臣さんのメッセージ。左下は「文化興黒松花道」の名渡科白場面。

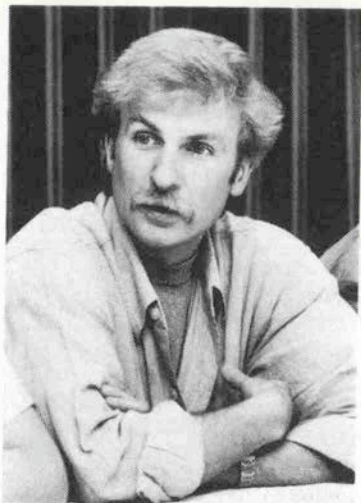
神戸文化ホールの前館長松井一郎さんの勇退興業宴が、五月二十四日(月)生田神社会館四階ホールで「文化興黒松花道」と題して開かれ、約一五〇名の文化人が相集った。

毎日放送平松アナの司会により加藤権宮司のお払いから始まり、五流能を代表して藤井久雄師の小謡。帝劇出演中の森繁久弥さんからのテープメッセージ。多忙な宮崎市長もかけつけて「顧問としてこれからも相談役に」と労をねぎらいお次は、渡科白の松井一郎一代記を、福田宮司、瀧川信宏、高橋孟、夏目俊二ら十五名によるカミシモ姿の愉快な口上披露に場内大爆笑。朝比奈隆氏は神戸フィル誕生の御礼を、笑福亭松鶴師匠は東西寄席十回目を迎える喜びを、筒井康隆氏は筒井劇場の、また松竹演劇室長中川芳三氏は学生歌舞伎にかけた情熱を讀えた。記念品は盆栽好きにふさわしい黒松の植木が。乾杯の発声は陳舜臣氏。アトラクションも多彩で森哲也、滝えり子、新井満、上平田裕子、松本幸三、堀郁子さん達が唄った。パーボンクラブの唄、マカインブッサールの松づくしと続き、フィナーレは松井ご夫妻の小唄で打上げ。日本の劇場史に残るユニーク名館長と浅利慶太氏が贈った言葉にふさわしい花道だった。

クロード・モンタナ

創造の世界

社団法人 ザ・ファッショングループ第7回ゼミナールレポート



ファッション界をリードするクロード・モンタナ氏



会見に応じた後、ステージ上で、ファッション業界に入
ったきっかけやこれまでの自分の人生について語った。

私は、生粋のパリっ子で、子供の頃から芸術的な分
野には大変興味をもっていました。殊に舞台装飾に関心
が強く、将来はその方面に進もうと思っていたのです。
両親は教育については、普通程度の関心を寄せていまし
たが、兄が科学的な分野で成功していたので、私にもそ
れを望んでいたようです。18才の時、オペラ座で舞台演
出のアルバイトをしていたのですが、ちょうどジャガー
ルが内装を塗り変えたりしていた頃で、いろいろな勉強に
なりました。芸術的な感覚を磨くには良い環境で、現在
の仕事にも重要な影響が与えられたと思っています。

社団法人ザ・ファッショングループ（坂野惇子会長）
の第7回ゼミナールは、去る5月13日、よみうり文化セ
ンターにおいて、パリのファッションデザイナー、クロ
ード・モンタナ氏を招き「クロード・モンタナ創造の世
界」と題した講演会を開催し、680名が詰めかけた。

クロード・モンタナはパリ生まれの、今年33才という
若手デザイナーで、ニューヨークデンボーイと呼ばれる
ほど世界中で人気を集めている。日本でも5年前からラ
イセンス契約でプレタポルテが登場し、個性的なデザイ
ンながら、着こなしを楽しむファンが定着してきている
この日は、ジーンズにダンガリーシャツという軽装で
アシスタントのブッツ・パーマシヤール氏と共に、記者

進学の時期になって、私は科学方面へ進む意志がなか
ったので、英語の勉強をするという口実でロンドンへ友
達と渡りました。ところが、所持金が底をつき、何か楽
しみながら稼ぐ方法を——と考え、粘土でメキシカンア
クセサリーを作って売ったのです。これは、トイレット
ペーパーと水とのりで紙粘土をつくり、形を造って焼き
上から絵を描くという、いたって費用のかからない材料
です。（笑）でも、オリジナリティが評価され、当時ミニ
スカートが全盛だったキングスロードのブティックで
は、人気ができました。そのうちロンドン版のヴォーグ誌
に、私のアクセサリーが2頁に渡って紹介され、大成功



を収めたのです。ところが滞在許可の期限がきて、パリへ戻り、同じようにメキシカンアクセサリーを作りましたがサッパリ。パリは保守的でしたね。そうこうするうち、洋服を作る知識は全くありませんでしたが、デッサンを書いてみました。そして、皮革服メーカーのスタジオに気に入られ、アシスタントを始め、一年経つとコレクションで試作の機会が与えられたのです。それが又バイヤーに好評で布帛も手がけるようになりました。それから最終的には独立し、良いスタッフにも恵まれ私独自のコレクションを発表するようになったのです。振り返れば、本当に無我夢中でやってきたという感じで



韓ラビーヌの江村美代子代表取締役常務。同社では1977年からライセンス契約でプレタポルテを発売している。今回のゼミナールを企画担当した。モンタナファッションをさりげなく着こなし。

す。ずいぶんといろいろありましたよ。私の思考の中に常に存在するのは「進歩」です。広い視野を持ち、期待されているクリエイティブなものを、どんどんこれからも発表していきたいと思います。

★ ★ ★

82秋・冬コレクションは3月27日にルーブル美術館の中庭にテントを張って催された。今年のテーマは「パリ」ここ何年かフオークロア調が多いが、モンタナにとってのフオークロアは、まさしく「パリ」である。本当のパリを見直そうと、音楽も全てにパリの雰囲気が出た。

このモンタナのファッションを日本でライセンス化した今回のゼミナールを企画した韓ラビーヌの江村美代子常務は「彼は物づくりに対しての姿勢が、本当に熱心です若いデザイナーにしては、パターンがしっかりしているし、緻密な計算までなされていますね。本人の才能はもちろんですが、スタッフも優秀で、オートクチュール出身の熟練した人達です。欧米では彼の作品は、皮革や毛皮が得意なこともあって、高価です。日本人はその点、幸せだと思います(笑)。30〜50才代の人にも人気があるって、彼が望むところの、内面からの美しさを持つ女性には、とても着やすいファッションです」と語る。無口で頑固だというモンタナ氏だが、さすがに世界中の女性を魅きつけるキャラクターが備わっていた。

(岡)



▲82秋冬発表のクラシックなコート。黒のカシミア地で赤のベルベットと皮が使われている。▶パリのコレクションで、ドレシーブが美しいチュニック丈のコート。(韓ラビーヌ提供)



la boutique charmante *Serizawa*

心の翼、はばたいている。

あざやかな夏の封印をきると、空は限りなく、
広がりはじめた。
街へ、海辺へ、そして
わたちの胸のなかにも。

●
'82 Summer Serizawa Collection



serizawa



KOBE HIGH CLASS SHOP

●世界の暮しをプレゼント



磨けば光る

神戸家具の粹

嶋田勝次

(神戸大学工学部助教授)

欧風家具の永田良介商店は、今年創業110年、神戸港がヨーロッパの接点であったことから英国のゴシック系をベースにいろいろアレンジし、流行にとらわれないでじっくり手づくり職人の仕事と取り組んで来た。

そして神戸家具のハイカラな伝統を築きあげてきたように思う。

オーク材(北海道産)

は、手入れをすればするほど、アメ色のように味わいが滲み、がっちりどっしりした風格はさすがだ。ヨーロッパには代々の家具があるように、神戸家具を磨けば磨くほど光るよさを親から子供たちへと保存して、一点一点気に入った家具を揃え伝えて行くといい。住みだおれ神戸の真髓だ。

(写真左/永田良一郎社長)

欧風家具・設計・創作

永田良介商店

神戸市中央区三宮町3丁目1-4
TEL (078) 391-3737~9



KOBE HIGH CLASS SHOP

●世界の暮しをプレゼント



いい音楽は
いい靴から

朝比奈 隆

《大阪フィルハーモニー
交響楽団常任指揮者》

私とヨシオカさんとの
おつき合いは、もう三十
年ほどになりますね。あ
と二年で創業六十年を迎
えられるということです
から、歴史の半分をおつ
き合っていることにな
ります。先代は職人気質
の方で、頑固一徹と言
いますか、いつも恐い顔
をしておられた（笑）。

今日は、ローマで買っ
た舞台用の靴をもつて来
たのですが、一二年三
年使ってダメになってしま
った。われわれ“芸人”
にとって、靴は芸者のタ
ビと同じで、シワひとつ
あってもダメなんです。
これと同じものをつくっ
てもらおうと思ってもつ
て来たんです。

私は練習時間を入れて
大体一日五〜六時間、立
って仕事をしていますが、
やはりオーダーをした靴
ははき心地がよく楽です
ね。私の場合、黒のクラ
シック調が多いのですが、
仕事のときのステージ靴
は本当に大事です。いい
靴をはきたいものです。

（写真右／吉岡 潔社長）

本格派の人々に愛される

神戸 **ヨシオカ** 東京

神戸市中央区三宮町3丁目1-9(大丸前) TEL (078)331-5190・9763



真珠のノーブルな持ち味が好き

伊藤 ルミ

〈ピアニスト〉

私が初めて真珠を身につけたのは最初の演奏会の時で、シルクのドレスに母から借りたパールネックレスをつけて演奏しました。以来、真珠の持つ清楚な気品と美しい輝きに魅せられて、コンサートはもちろんパーティなどの席にも必ず着用しています。

今日、私がつけているネックレスは中央に大きな南洋真珠が入ったとても素晴らしいデザイン。社長さんがブレスレットとリングもコーディネートしてくださいました。

パールシティといわれる神戸の代表的な宝飾品の会社だけあって品質は最高だし、デザインもオーダーボックスなものから新鮮で斬新なものまでバラエティに富み、特に私は藤井秀二さん、メリー重富さんの大ファンです。

社長さんはとても気さくで豪快、真珠をこよなく愛する優しい人柄に、「次は社長さんのためにピアノを弾きます」とお約束してしまいました。

(写真は神戸ポートピア店にて右/田崎俊作社長 左/藤川義男店長)

田崎真珠

本社＝神戸市中央区旗塚通 6-3-10 TEL (078) 231-3321
 さんプラザ店＝さんプラザビル 3階 TEL (078) 391-4085
 神戸ポートピア店＝神戸ポートピアホテルパレ・ビアンカ
 2階 TEL (078) 302-1560

パールファーム神戸＝灘区鶴甲 TEL (078) 882-0107
 神戸外商部＝中央区旗塚通 TEL (078) 231-3321
 なんば店＝大阪市南区なんばシティ本館1階 TEL (06) 644-2703
 大阪支店＝大阪市北区住友中之島ビル10階 TEL (06) 444-1315



自然が生んだ 光沢と色彩

西村 みどり

〔洋菓子研究室〕

「べっ甲」と聞いて頭に浮かぶのは、櫛やかんざし。何となく古めかしいものというイメージを持っていたのです。ところがこちらのお店をお訪ねしてびっくり、かわいらしいイヤリング、華やかなブローチ、ペンダント、ブレスレットなどたくさん並んでいます。

色はいわゆるべっ甲色、茶色、黒と限られているけれど、デザインにはむしろその地味な色合いを生かしたシックで神戸らしいものを、といういろいろ注文を出されるとか。べっ甲の良さは何と云っても天然の素材ということ。自然が作り出した微妙な色の変化はプラスチックには真似のできない味わいがある、木綿や麻の服にもびったり似合いそうです。手づくりのものだけに、折れた時など修理がきくというのも嬉しいところ。玳瑁という亀の甲をはり合わせて形づくり、磨きあげる技術は

日本独特のものだそうで外国の方へのおみやげにも喜ばれそうですね。

（写真右／太田米三社長）

べっ甲 太田べっ甲店 元町1番街山側 TEL.(078)331-6195



カップの輝きに 技術と良心が… パトリッツア新谷

世はまさにスポーツ時代ということで、気持ちいい汗を流すのが楽しい季節。私も剣道、空手、ヨガにモダンバレエと体を動かし、日本のなごみにふれながら美容と健康の維持に努めています。

平山商会さんはカップやトロフィーの専門店としてスポーツを演出するのではなく、ならないお店ですが、お店の中を見せていただいたのは今日初めて。

銀色に輝くカップやトロフィー、楯などの他、様々な記念品が多種多様に揃っていて目を奪われてしまいました。私も以前に剣道で奨励の意味を込めてカップを頂きましたが、何よりの記念になり、もつと頑張りたいという気持ちになります。

社長の平山さんは「パトリッツア、カップ、旗の専門店にふさわしく内容を充実していきたい」と意欲的で、カップの形や素材の変遷について詳しく話してくださいました。最新のきれいなクリスタルカップを見て、ヴェニスガラス専門店を思い出しました。

(写真左/平山正博社長)

合資
会社

平山商会

神戸市中央区中町通2丁目1番16号(神戸駅前)

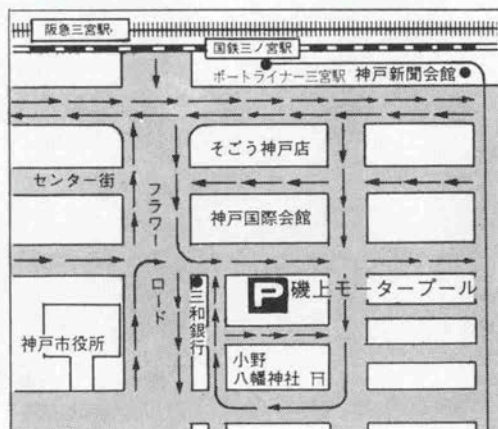
TEL (078) 351-1551



自走式立体モータープール

ビジネスに！
ショッピングに！
ご利用ください

- 収容台数 300台
 - 月極駐車可
 - 年中無休
- (8:00AM~11:00PM)



磯上モータープール (神戸国際会館前) TEL (078) 251-7873